

徳之島ブランドを盛り上げよう

例えば、三京の林道にある、キウイフルーツの原種であるサルナシカズラを、栽培して販売することも良いと思います。

沖縄でも、実際にサルナシカズラを、栽培して販売しています。味は、すっぱくて島っぽい味がするそうです。徳之島でもサルナシカズラを栽培してお店で販売したら、徳之島のブランドより盛り上がると思います。



自然遺産でブランド化

- ・ 地域の農家の皆に協力してもらい、ブランド化をする。
- ・ 地域の自然を守り環境をよくすることで、ジャガイモや、サトウキビ、牛、コーヒーなどの特産物のブランド化を盛り上げる事ができる。
- ・ 世界自然遺産になることで特産物がより有名になる。
- ・ 観光客の増加によって経済が高まり、特産物の品種改良などに力を入れることができ、ブランド化が期待される。

徳之島は世界の宝

～三京林道自然調査から～



2021.11.9 (火)



太古から 生き続けている 動物が、植物が 目の前に

イボイモリやアマミシカクワガタなど希少な動物だけでなく、アマミノクロウサギの「試し掘り」やイノシシの「ぬた場」など、普段では見れない光景を見ることができました！



徳之島にある植物

徳之島には、8種の固有種と110種の絶滅危惧種があります。その中でも、トクノシマカンアオイやトクノシマエビネ、トクノシマテンナンショウ、タニムラカンアオイなどがあります。

三京林道では、クチナシ、センリョウ、アマシバ、ヌマダイコン、オキナワウラジロガシなどの計18種類の植物などを観察することができました。

伊仙町立犬田布中学校

大島郡伊仙町犬田布327

TEL 0997-86-9206

FAX 0997-86-9225

www.t2.toku-vision.com/~inuchu



徳之島にいる外来植物①

そもそも、外来種とは、人間活動によって他の地域から持ち込まれた動植物のこと。徳之島には、たくさんの外来植物が生息している。その中には、モミジヒルガオ、ランタナ、ノグイトウや、ギンネム、アメリカハマグルマ、ポタンウキクサ、ニトベギク、アメリカネナシカズラなどがあります。外来種で、絶滅してしまう在来種が出てくることもある。外来種と上手に付き合っていくことが大切！



徳之島にいる外来植物②

今年8月、徳和瀬において、農産物や、在来植物に寄生し、最終的に枯らしてしまう、**アメリカネナシカズラ**が確認された。特徴は、茎の太さ、1mm程度で、色は黄色っぽくラーメンみたい！人間で例えると癌みたいな病気！駆除するには一帯を毎年、地層まで焼き払うしかない！ ※見つけたら徳之島虹の会に連絡をしましょう。

NPO法人徳之島虹の会の紹介

徳之島虹の会は、本業の傍ら、地域のボランティア活動に携わってきた人々が、もっと徳之島を楽しみ、守り、伝えたいと願い2011年設立しました。会の名前の虹には、虹本来のイメージのほかに島の方言で示す「仲間」の意味があります。こよなく島を愛する仲間が集い、人と人、自然と暮らし、過去と未来をつなぐ、かけ橋になることを目指しています。設立当初より、島民主に子供たちと、島の宝の魅力と知識の普及を図るとともに、その保全、継承の活動に取り組んできました。

近年は、島の宝を未来へつなぐ活動として、世界自然遺産登録の推進にも積極的に取り組み、希少野生動植物、自然環境の保全活動、子供や住民を対象とした環境学習、貴重な自然や文化を守り伝えるエコツーリズムの推進などを行っています。



世界の宝の徳之島にある もう一つの現実

ゴミの不法投棄、道路へのポイ捨て
希少動物の交通事故、ノイメ・ノネコ被害
除草や処理が難しい危険外来種
昆虫や植物の盗掘
赤土流出、海洋ゴミ、オコヒトデのサンゴ食害



徳之島の動物を 守るために 私たちにできること

注意を呼び掛ける

動物を捨てるな！
動物を捕まえるな！
夜道はスピードを出しすぎるな！
ごみを不法投棄するな！
ポイ捨てをするな！
みんなでゴミ拾いをしよう！

「三京林道」以外にも、
徳之島にはスゴイ所や
貴重な動植物が
たくさんあります。

世界の宝、徳之島。
みんなで守っていきましょう。

外来種駆除に参加してみた

左の外来種があった場所は、三京林道の世界自然遺産の国立公園の特別保護地区と第一種特別地域が混ざったところ。僕たちが駆除した外来種は「ムラサキカッコウアザミ」という草です。別名は、「ヤギクサ」です、なぜなら、ヤギのにおいがするからです。この草は抜けやすいですが、たくさん生えていて抜いてもきりがありませんでした

